

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成27年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ⑤農林水産業分野(2/9)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
たたらの里山再生特区(雲南市)	正	4.0	4.5 <u>進捗度</u> ・新たな雇用者数 174% ・まちづくり活動に参画する市民の割合 95% ・木材生産量 131% ・里山放牧面積 84% ・コミュニティビジネス売上高 105%	3.0 <u>規制の特例等</u> ・農地取得に係る下限面積要件の緩和 等 <u>財政支援等</u> ・農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 等 <u>地域独自の取組</u> ・地域づくり活動等交付金 等	4.3	<p>・各事業の意図・目的が明確であり事業間の連携がとれていて、成果が着実に上がっている。特に新たな雇用者数は、事業開始以来、目標値を順調に大幅に超えて増加していることは高く評価できる。</p> <p>・スパイスプロジェクト・スイーツの杜プロジェクト等の6次産業化事業について、日本遺産認定を目指す(※)たたら史跡を活かしたブランディングと相乗効果をもつような取組を目指していただきたい。 ※平成28年4月25日付けで日本遺産認定</p> <p>・小規模多機能自治組織によるコミュニティビジネスが雇用創出効果につながっていないのは残念だが、6次産業化事業とも併せてみれば、地域の仕事づくりにつながっていると評価できる。</p> <p>・評価指標(2)(まちづくり活動に参画する市民の割合)については、そもそも参画の度合いが不明瞭な計測方法であるように思われる。参加者の参加の継続度や取組の度合等、取組の密度を継続して把握できるものにされたい。</p>

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。